



# 岐阜県感染症発生動向調査週報

Gifu Infectious Diseases Weekly Report

令和元年 5月 17日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

2019年第19週

(5/6~5/12)

- インフルエンザは、引き続き県内各地で患者の報告がみられています。
- 感染性胃腸炎（小児科・基幹定点）は、引き続き患者報告数が多くなっています。
- 東濃保健所管内で水痘患者が多数報告されています。
- 伝染性紅斑は、県内の広い地域で患者の報告が続いています。
- 第19週に県内で風しん患者が新たに1例報告されました（今年3例目）。

## ■ 定点把握対象疾患の発生動向（インフルエンザ 定点:87か所、小児科定点:53か所、眼科定点:11か所、基幹定点:5か所）

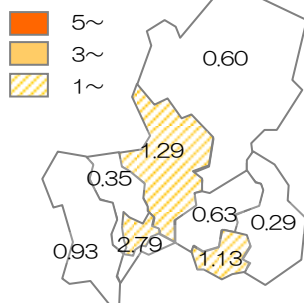
### ● 警報・注意報レベルの保健所がある疾患

レベル	疾患名	基準	該当保健所（定点当たり報告数）
警報レベル	水痘	定点当たり2人以上 (1人を下回るまで継続)	東濃 (2.00)
注意報レベル	なし	—	

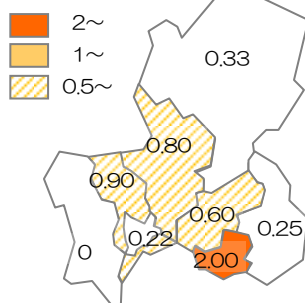
※定点当たり報告数が一定の基準を超えた場合、保健所単位で「警報・注意報レベル」を発信しています。  
 警報レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを、注意報レベルは流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

### ● 注意したい感染症の保健所別流行状況（地図中の数値は定点当たり報告数）

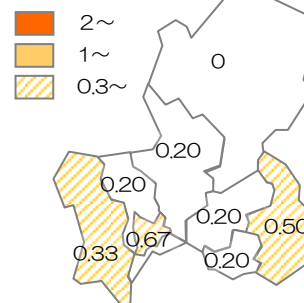
#### <インフルエンザ>



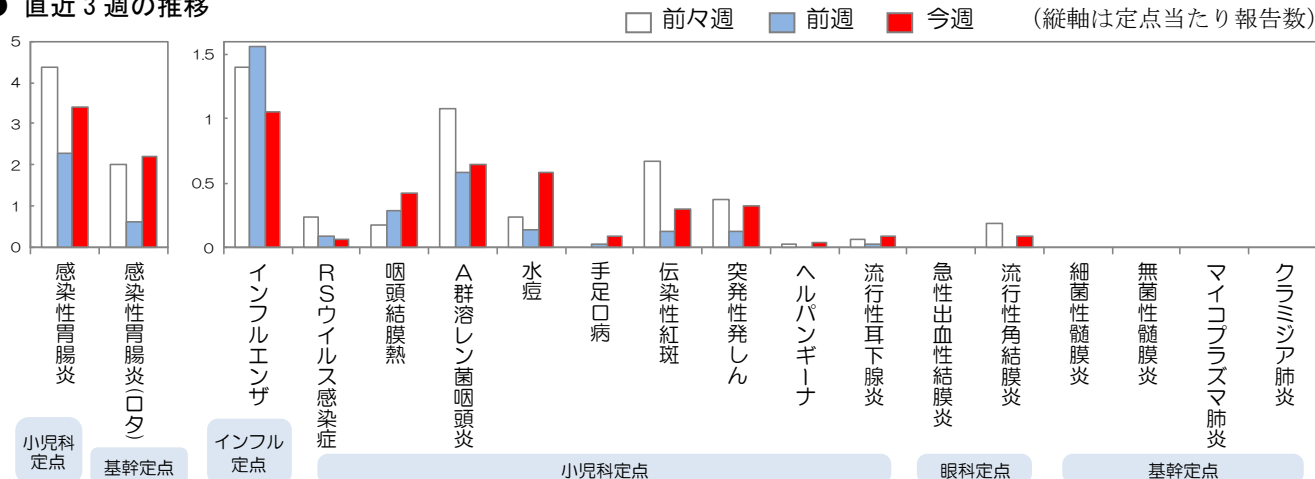
#### <水痘>



#### <伝染性紅斑>



### ● 直近3週の推移



## ■ 全数把握対象疾患の発生動向

### ● 今週届出分

- 1類感染症：なし
- 2類感染症：結核 7例
- 3類感染症：なし
- 4類感染症：レジオネラ症 1例
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例、後天性免疫不全症候群 1例、侵襲性肺炎球菌感染症 2例、梅毒 2例、百日咳 3例、風しん 1例

全国情報は国立感染症研究所感染症疫学センターのHPをご覧ください。  
 感染症発生動向調査週報 (IDWR) <https://www.niid.go.jp/niid/ja/idwr.html>

※今週のトピックスはありません。

岐阜県感染症情報センターHP <http://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/kenko/kansensho/kansensyo/>